

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ADLの低下。特に嚥下機能の低下による、食欲・食事量の減少への対応	嚥下機能を維持することで、食事の楽しみを継続させる。	嚥下体操を継続して実施する。食事への意欲や機能の衰えてきた入居者の食事には、とろみをつけるなどで工夫を加えるようにする。食事・献立の工夫。	3ヶ月
2	33	重度化、ターミナルケアへの対応	ホームとしての方針と、それぞれの入居者の状況に合わせた対応を確定する。	他施設や外部研修での報告、内部研修などで、重度化やターミナルに関してスタッフ間の意見交換を行う。家族との相談、終末期に関する意見交換の機会をつくり、入居者・家族の意志の確認をはかる。	3ヶ月
3	35	緊急時の対応、災害への対策	避難経路の確保。 マニュアルの見直しとスタッフへの徹底。	救急救命訓練の実施。緊急連絡網の更新と、新体制による避難訓練を実施する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。